

## 新潟市農業構想の進行管理について

将来像	基本方針	指標	平成25年度	令和元年度	平成34年度 将来目標
食と花の都 く笑顔あふれ明日を拓く大農業都市	基本方針1 競争力のある 食と花の確立	① 水稲作付面積	24,500ha	<b>25,076ha</b>	24,500ha
		② うるち米一等米比率	78.10%	<b>37.2%</b>	90%
		③ 学校給食における地場農産物 (野菜・果物・きのこ類)の利用割合	25.20%	<b>25.16%</b>	30%
		⑬ 新たな園芸産地の形成		<b>累計7</b>	累計12
	基本方針2 意欲ある 多様な担い手の 確保・育成	④ 認定農業者への農地集積率	54.29%	<b>68.2%</b>	85%
		⑤ 新規就農者数	66人	<b>70人</b>	70人
	基本方針3 力強い農業生産 基盤等の 整備・保全	⑥ 市管理農業用排水機場の長寿 命化対策工事の実施数	0機場	<b>6機場</b>	10機場
		⑦ ほ場整備率	48.90%	<b>51.5%</b>	60%
	基本方針4 魅力ある 田園環境の創出	⑧ 多面的機能支払の取り組み率	62.50%	<b>87.4%</b>	95%
		⑨ 主食用水稲作付面積に占める 化学合成農薬・化学肥料を5割 以上削減した栽培面積の割合	34.40%	<b>26.44%</b>	50%
		⑩ 田んぼダムの面積	5,000ha	<b>5,992ha</b>	6,500ha
	基本方針5 食と花の理解を 深める農のある 暮らしづくり	⑪ 農業サポーター活動人数 (延べ活動日数)	延4,621日	<b>延3,671日</b>	延6,500日
		⑫ 教育ファーム(農業体験学習) 取り組み小学校割合	86.70%	<b>100%</b>	各年100%